

# そよかぜだより

## 2009 12月号



そよかぜ歯科医院の URL  
<http://soyokaze-dc.co>

### 歯周病と薬

毎年、この時期になると「早いもので、もう今年も終わるか…」と感じます。年をとるにつれ年々一年が早く感じるのはなんでだろう、気のせいかなと思っていたのですが、この間テレビで、それにはきちんと理由があることやっていました。

大人になってゆくと、毎日の生活に新発見や、初めて体験するものが少なくなってきた、同じような毎日を通すようになる、「忙しい」や「時間が足りない」など思っていることが多くなっていることから、感じられるそうです。

また、子供と大人の心拍数の速さの違いも関係あるそうです。子供は心拍数が大人に比べて多く、行動のテンポが早いため、1日1日が長く感じるそうです。年をとってこれにつれて心拍数が減ってきて、ペースがゆっくりになってきましたので、時間の流れが速いように感じるそうです。他にも調べると色々ありますが、一度過ぎた時間が戻ってくることはないで、早く過ぎていってしまう時間的な、1日1日を大切にしていきたいですね。

### 笑気吸引鎮静法

歯科治療に恐怖や不安を感じる人に用いられる療法です。鼻から笑気ガスを吸うチューブをつけます。笑気ガスを吸引し始めるとだんだん、ポーっとしてきます。すると気持ちが大きくなった気がする為、治療への恐怖や不安が薄れてきます。歯科治療に恐怖感や不安のある方は先生やスタッフにお気軽に声をかけてください。



今回は、病気などで薬の長期服用をしている場合、薬が歯周病に与える影響についてをお話したいと思います。

様々な生活習慣病に対して、それに対応する薬剤を服用されている方もいらっしゃると思います。その薬剤の中でも、副作用として**歯肉の増殖による歯肉の腫れ**を引き起こすことのある薬剤があります。その代表的な物として、挙げられるのが次の薬です。

・降圧剤・特にカルシウム拮抗剤（アダラート、錠・アムロジウム、ノルバスク）

・抗てんかん薬（フェニトイン）  
・免疫抑制剤（シクロスポリンA）

歯肉の増殖の初期は、通常の歯周病とは違い、歯を支えている顎の骨や歯の根の周りを囲んでいる膜などの組織が悪化するものではありません。しかし、歯肉が増殖することによってブラッシングが不十分になり、プラークが蓄積し、歯肉の腫れがますます悪化しやすくなります。その結果、歯周ポケットが深くなり、歯周病菌が増えやすい環境になってしまいます。また、多くの薬剤は唾液の分泌量を減少させるため、唾液の持つ**汚れを洗い流す作用**が低下する恐れがあります。しかし、全身的な症状を考えると原則的にそれぞれの薬剤の服用は中止できません。歯周病でなければ、これらの薬剤を服用していても、歯肉の増殖を悪化させることはなく、たとえ増殖していても、歯周病の原因であるプラークを取り除けば、増殖は改善されます。このように、これらの薬剤を服用されている方は、より一層口腔内を清潔に保持し続けることが大切になってくるのです。もし、これらの薬剤を服用されていて、歯肉の腫れや出血が気になる方がいらっしゃれば、薬剤の服用を中止するのではなく、一度、歯科医院にご相談下さい。

### 健康な状態の歯肉



### 歯肉増殖を起した歯肉



「要説口腔病変の組織診断」より引用

### 今月のスタッフ紹介

### アシスタント 高木 華子



こんにちは、高木です！  
今年の9月からアシスタントとしてこちらでお世話になってます。  
院長先生をはじめ、他の先生方、歯科衛生士さん、アシスタントの方々も皆さん明るくて楽しい方ばかりです。  
歯医者さんの痛い、怖いなど嫌なイメージを変えるために私も常に笑顔を心がけています。  
早く患者様の顔と名前が覚えられるように頑張りますので、宜しくお願いいたします。

### 院長より

近年、平均寿命が長くなった反面、飽食の時代になり、過剰な栄養摂取が近年、問題になっております。併せて長時間の労働やストレス、さらには運動不足などが原因になり、中高齢者を中心に糖尿病、高血圧などの心疾患、さらには脳梗塞なども含めた循環器系疾患、その他悪性腫瘍など多くの疾患をお持ちの患者様の歯科治療が増加しております。中には歯科治療を受ける事が制限される方が多く見受けられます。このような疾患をさけるためには、程よい食事、運動、余暇時間が身体には最も良いとは言われますが、その条件を維持は難しいのが現状です。

様々な疾患によって薬物の服用は必要になった場合、歯科治療で必ずしもその薬物が悪いわけではありませんが、前述に示したように歯周炎の進行を早める作用の薬剤もいくつか挙げられます。しかし、あくまでも歯周病の原因は汚れですから、その汚れを取り除くことによって歯周炎の進行は止まります。すなわち、どんなときにも、歯のセルフケアが必要となるわけです。今回は、全身疾患と歯周病との関係をお話したいと思います。

